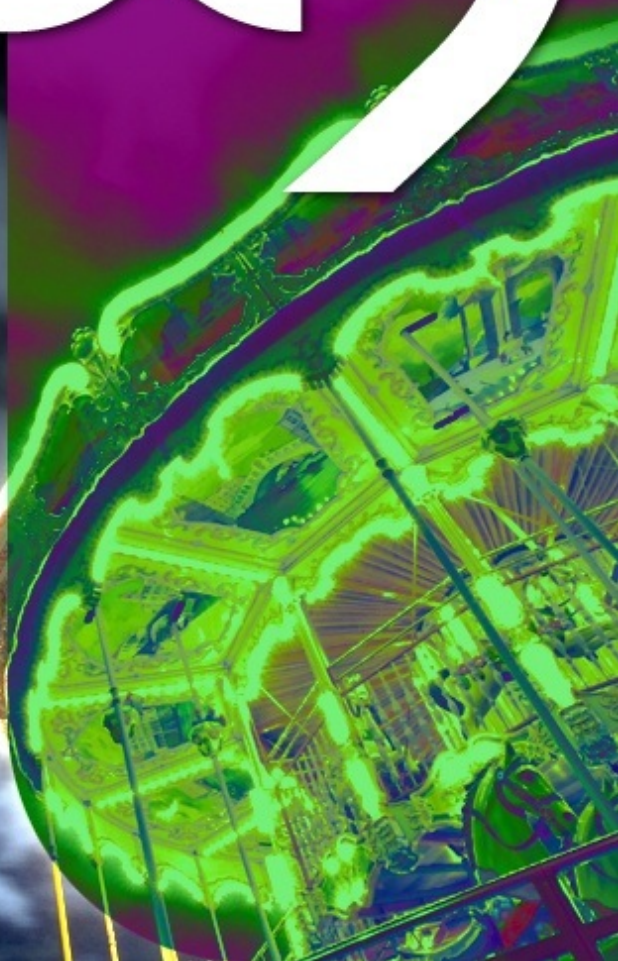
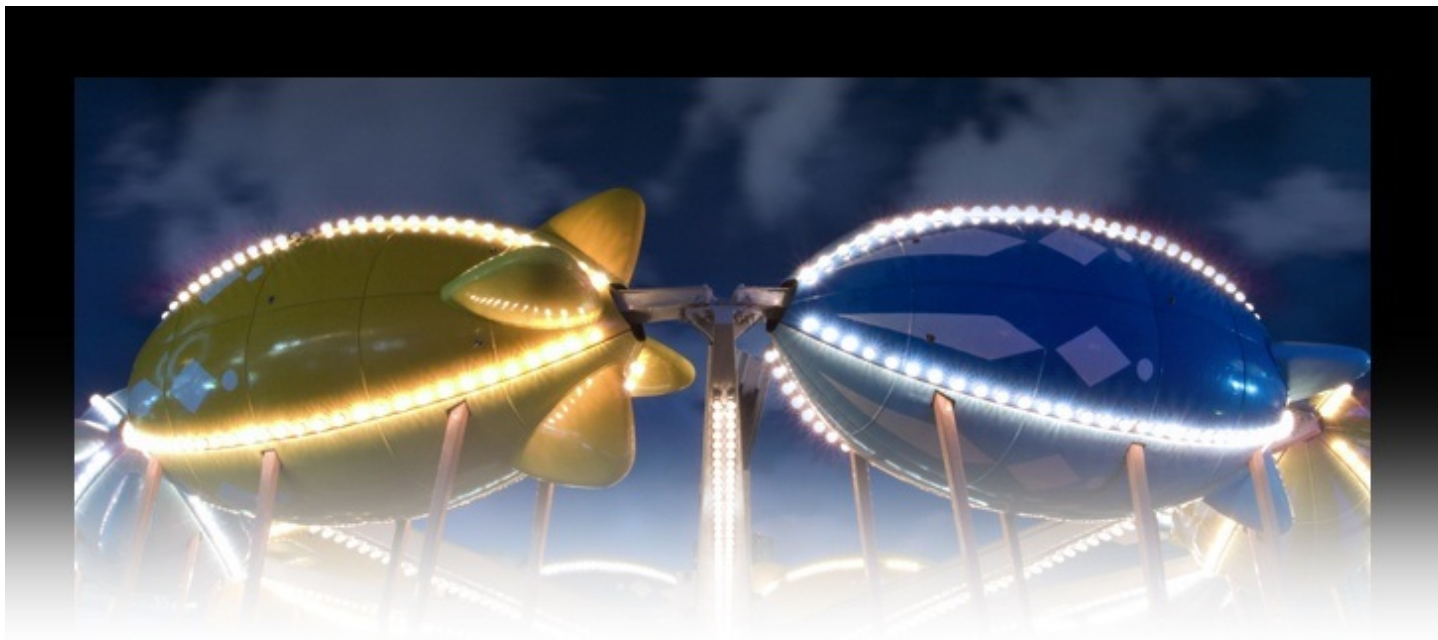


MONTHLY

0405

Vol. 2





はじめに

特集 「夜」

DYNAMIZM YOKOHAMA

紫藤春彦

Antichthon

大友裕司

連載 1 / 今月の**3DCG**

紫藤春彦

連載 2 / ハンニャシンキョウ

綾野俊介

連載 3 / iPadで**Painting**

スギオカカズキ

おわりに

はじめに

さて、2号目です。

創刊号はいささかオッカナビックリでしたが、
パプーのシステムはよくできているので、みんな一気になれてきた感じ。
楽しみながら続けていきたいです。

「OSAS」は、ビーワークスという会社で働く有志が集まって作った
電子マガジンです。

と言っても、会社の仕事には直接関係なく、あくまで自主的な活動。
写真をはじめとして、画像加工や3D、iPadによるペインティングなど、
デジタルなヴィジュアルに関する楽しさを、お伝えしていくつもりです。

発起人は、大友裕司、紫藤春彦、綾野俊介、スギオカカズキの4人。
雑誌名の「OSAS」は、大友、紫藤、綾野、スギオカの頭文字を
組み合わせたものです。

DYNAMIZM
YOKOHAMA









































Antichthon



．．．

1.順応

だんだんと目が慣れて暗闇が暗闇でなくなると、
（そもそも初めから明かりなんて無かったかのように、）
見えなかったものが見えてきて、既にそれが現実のものなのかどうかは関係なかった。

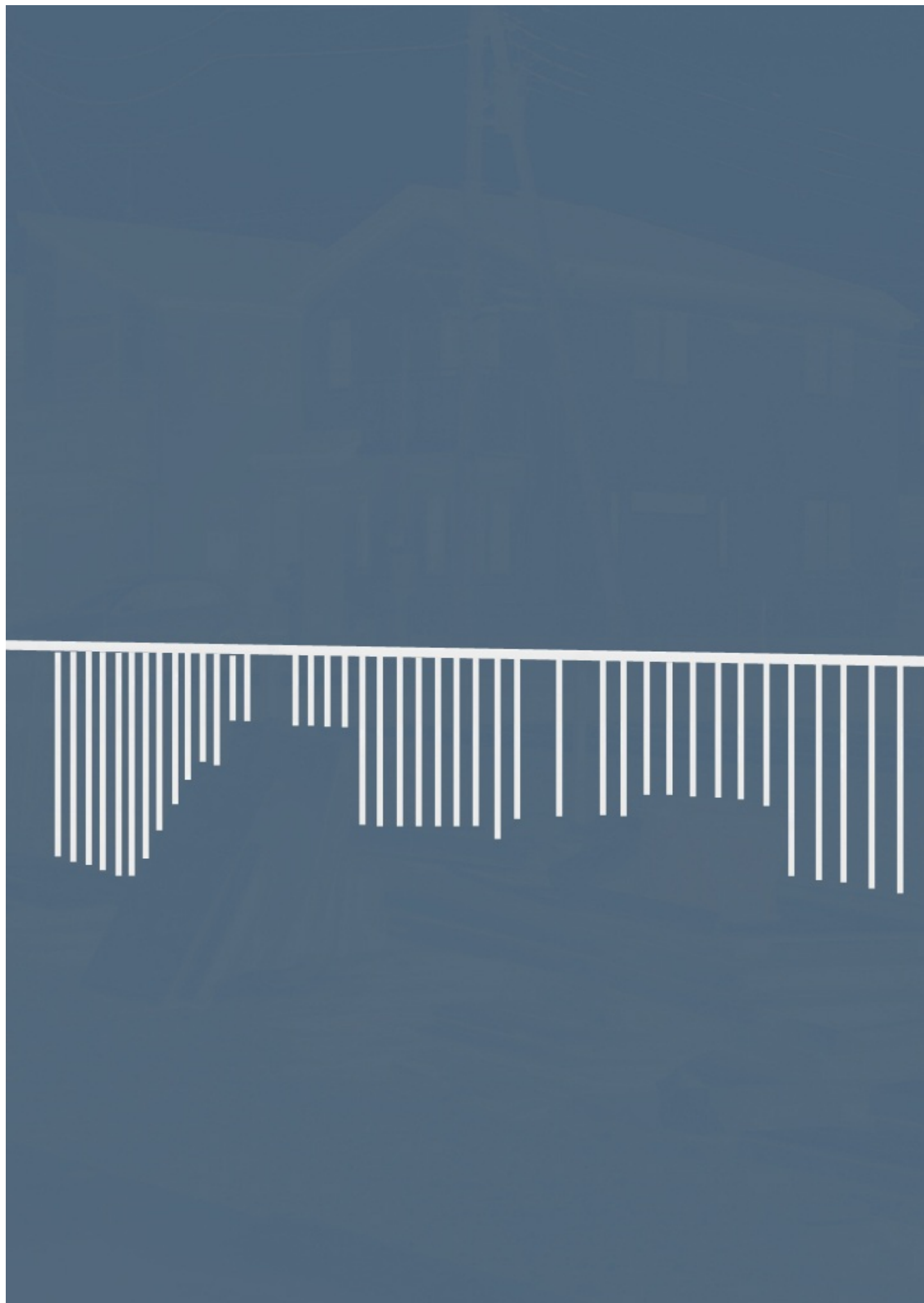
2.反地球

「ここ」が夜なら、地球の反対側の「あそこ」は昼。
太陽の向こう側に地球と同じような星があったなら、
その星の「ここ」と「あそこ」でも同じようなことがおこっているんだろうなあ。

●

○

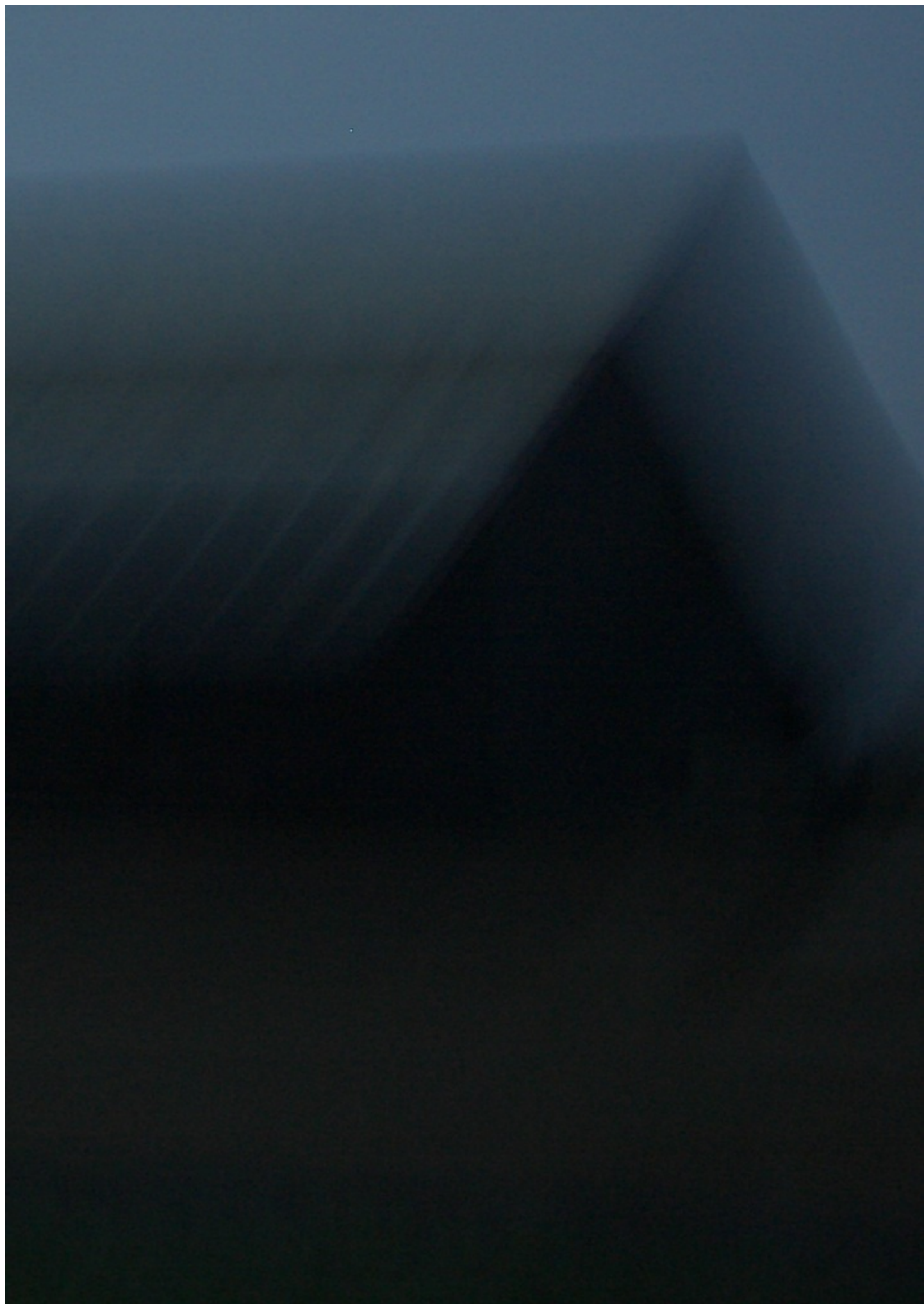














タイトル
「Smash the iPhone」

今回も**WEB**チュートリアルに従って作成しました。

なぜ**iPhone**を壊すのかは分かりませんが...

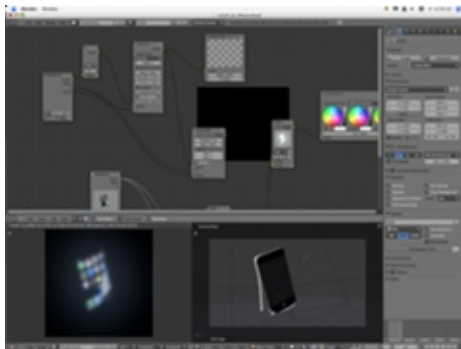
作品の特徴はパーティクルという機能を使用して破片を再現したことです。

この機能を応用すれば、舞い散る花びらや
沢山の人が歩く群衆アニメーションを作ることができます。

また破片のブレやボケも**Blender**のコンポジット(合成機能)を
使用して再現しています。

いや～これが無料で作れるのですから素晴らしいですよ～！
また4月に最新バージョンである**Blender2.57**がリリースされました！
より使い易く機能が増えた**Blender**を是非お試しください！

次回も**WEB**チュートリアルにある作品をご紹介します！



↑blenderのインターフェイス

blender公式HP:www.blender.org/

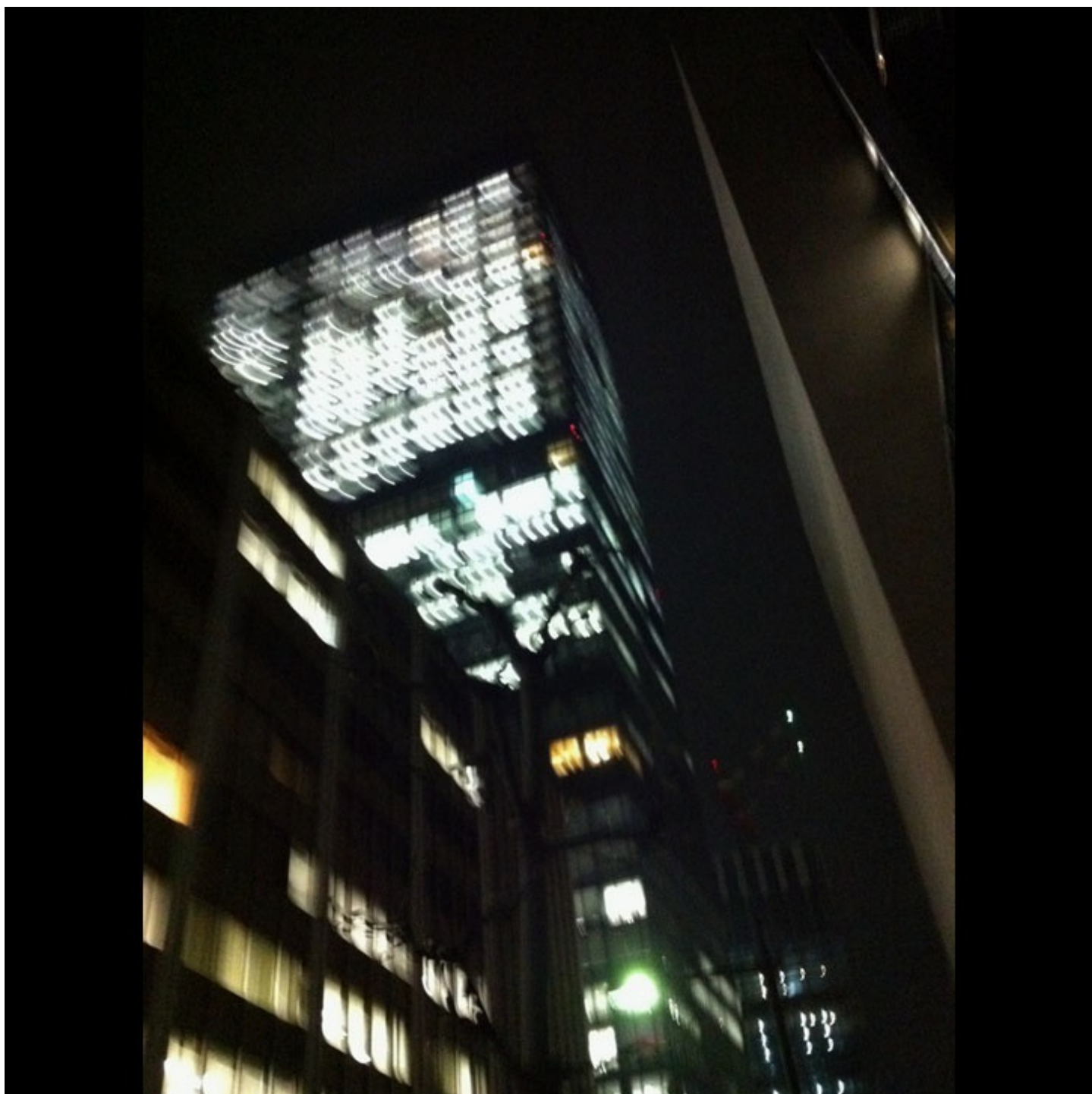


毎回1文字掲載、連載『写経 般若心経』第二回。仏説摩訶般若波羅蜜多心経と始まるタイトルの"摩"の字。習字は授業でやって以来なので二十年ぶりだ。



OMAKE SHUN AYANO PHOTOGRAPH

ゴキゲンな夜の3枚。









で

Païting

Sugioka Kazuki

前回は、いくつかのiPadアプリをザックリとご紹介しましたが、
今回から各アプリの具体的な使い方に入っていきます。

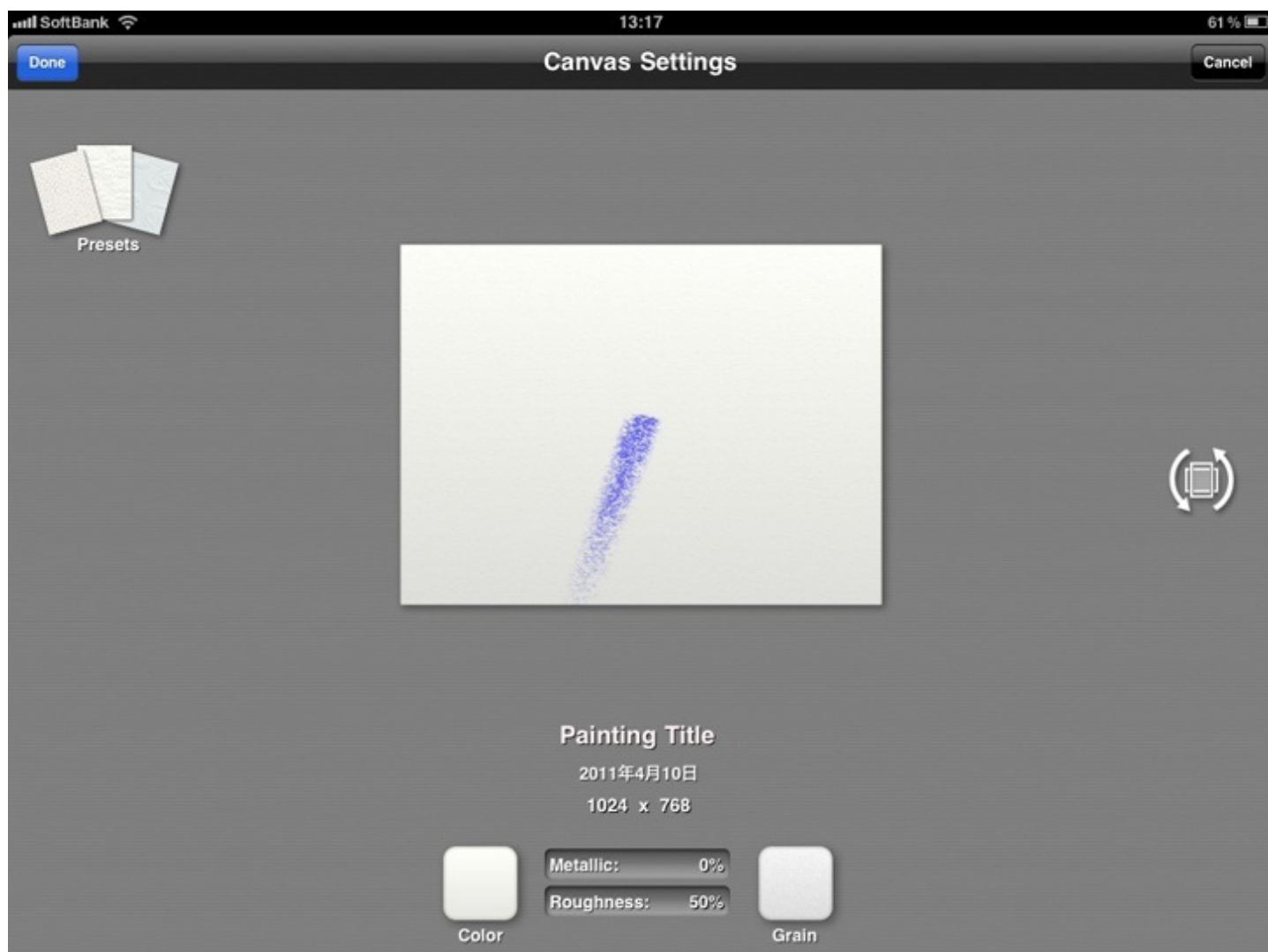
最初は、ArtRageから。

わたしはこのアプリをマンガの絵コンテ用に使っていますが、
マチエールの表出が良いので、本当は一枚絵に向いていると思います。
今回はそのあたりを軸にして。



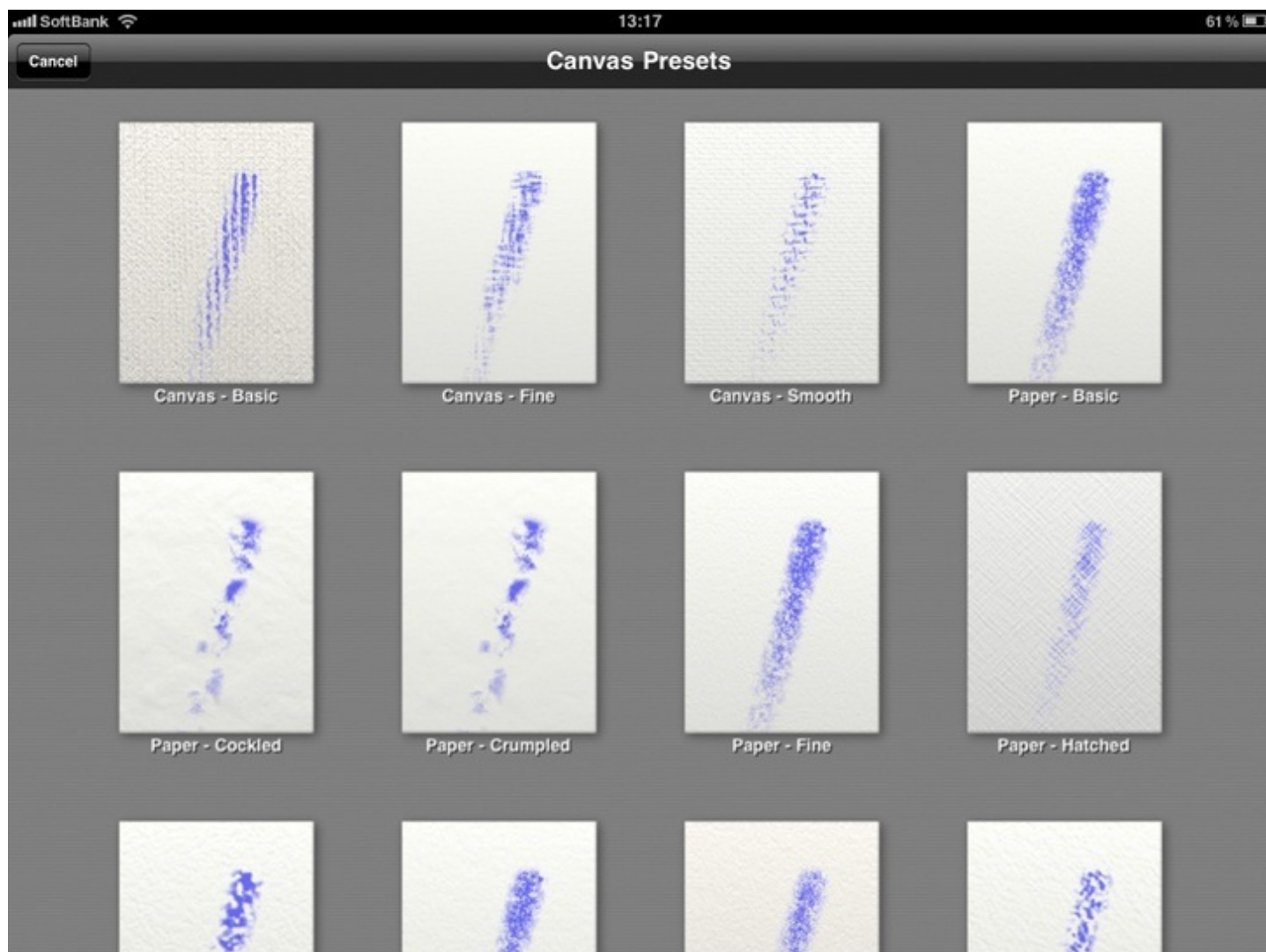
まずは、ベースとなる白紙を準備します。

この段階で、ArtRageはテクスチャを選ばせる形になっており、それだけでも雰囲気が出る感じです。



「Canvas」は油絵を意識した布目。

「Paper」は水彩を念頭に、紙の表面を再現しています。

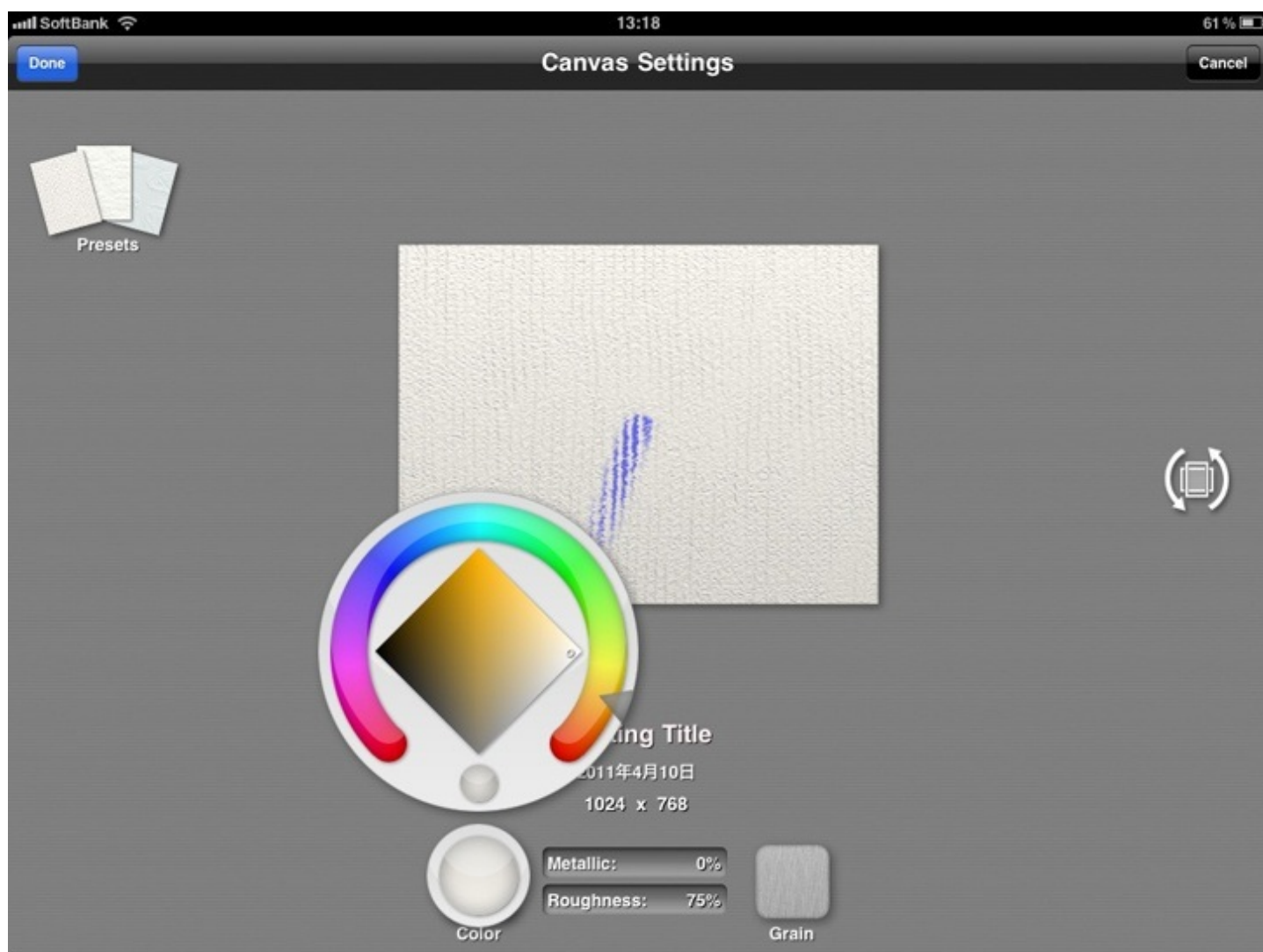


さらに選んだ支持体に対して、色の設定を行うことができます。

設定画面はこんな感じです。

ただし、普通は白い紙をスタートにすると思うので、

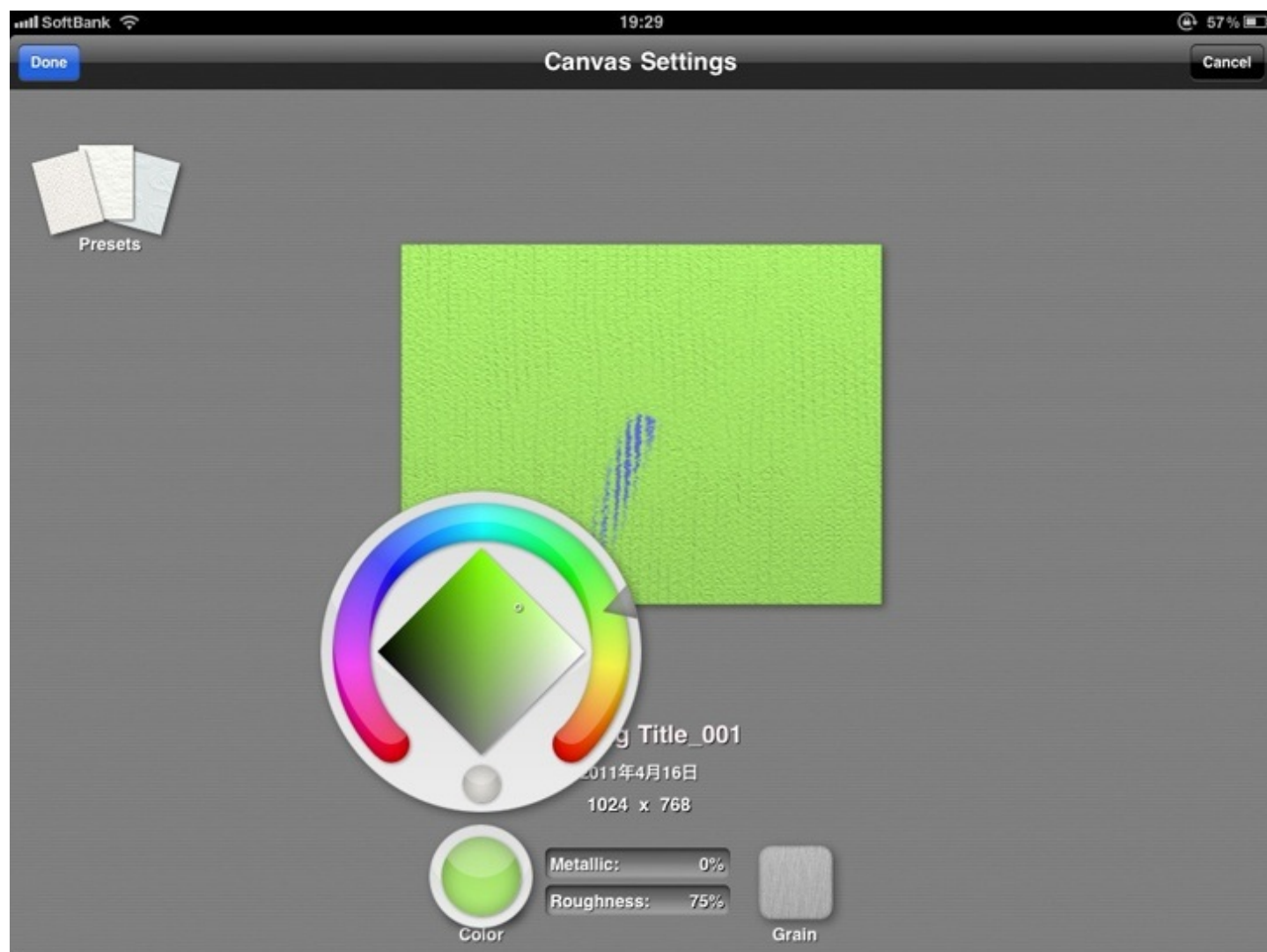
ここでは特に色をつけないで始めてみます。



キャンバスに対して、油絵調の「筆」ツールで描くと、
こんな感じになります。
もちろん、キャンバスに対して水彩調を使っても構いません。
それもまた、物理的な制約のないデジタル・ペイントならではの
楽しみと言えるでしょう。



ベースの色は、後から変えることもできます。



ベース全体を一気に（しかも後から）変えることができるのは、デジタルならではの利点と言えます。
雰囲気もガラッと変わります。



おわりに

春も夜もあっという間でした。きっと次も。（大友裕司）

昔の写真をひっぱり出した。懐かしいな～（紫藤春彦）

写経のために正座をするも、すぐ痺れる。（綾野俊介）

やることがたくさんあって、楽しい毎日です。（スギオカカズキ）

